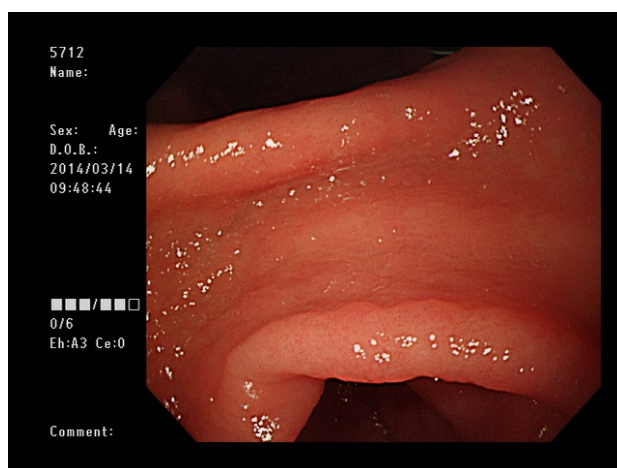
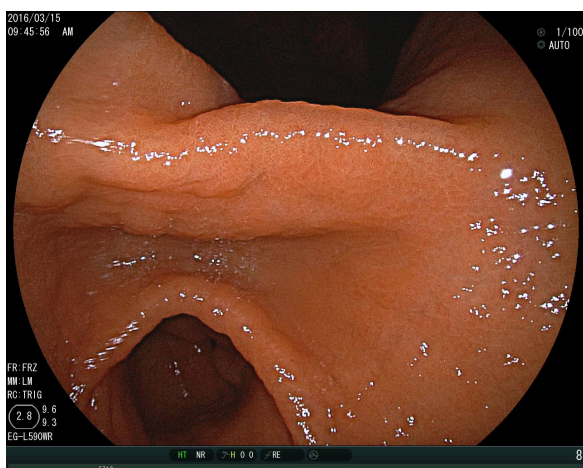


胃カメラが新しくなりました

院長 永井俊一

2月初めから、胃カメラが最新式のものに変わりました。これまでもオリンパスのハイビジョン画質の内視鏡を使っていましたが、今度の富士フィルム製の内視鏡はレーザーの光源を用いることでもっと鮮明に見ることができます（最近テレビでもコマーシャルしています）。また、特定の波長のレーザーを照射することで、粘膜面や毛細血管を強調して診断しやすくします。使用しはじめてまだ2か月ですが、今後胃癌の早期発見に威力をあらわすと期待しています。胃カメラの太さはこれまでのものと同じですが、操作性も良くなっていますので、今までよりも楽に検査できたと言ってくれる患者さんもいます。

当院では経鼻内視鏡も行っていますが、これまでのハイビジョン内視鏡や富士フィルムの内視鏡と比べると画質が格段に落ちますので、見落とさないために検査時間が長くなってしまうという短所があります。胃カメラの最大の目的は胃癌を早期癌（内視鏡的に治療できる）の状態で見つけることだと思いますので、なるべく画質のいいカメラをお勧めしています。苦しいのが嫌だという場合は、麻酔で寝た状態で検査をする事もできますので、ご相談ください。



（上：富士フィルム、右上：ハイビジョン、右：経鼻）

モニター画面に映しだされる大きさも違います。富士フィルムの画像は拡大しても鮮明です。

